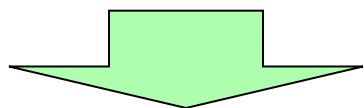


大村市(九州・沖縄ブロック)

【計画期間 21年12月～27年3月】

- ・江戸期 : 長崎街道大村宿として発展
- ・明治～戦後 : 陸海の軍都として繁栄
- ・戦後～ : 陸海三部隊を擁する自衛隊のまち

- 郊外大型店の出店、既存百貨店の減床等により商業機能低下
- 郊外部への居住の進展、高齢化の進行によりコミュニティ機能低下
- 九州新幹線(長崎ルート)新駅の誕生(H30年頃、約2Km北)による商業機能低下を予防



○ 歩行者通行量の減少

H6 : 37,567人/日

→ H20 : 7,835人/日 (▲ 79.1%)

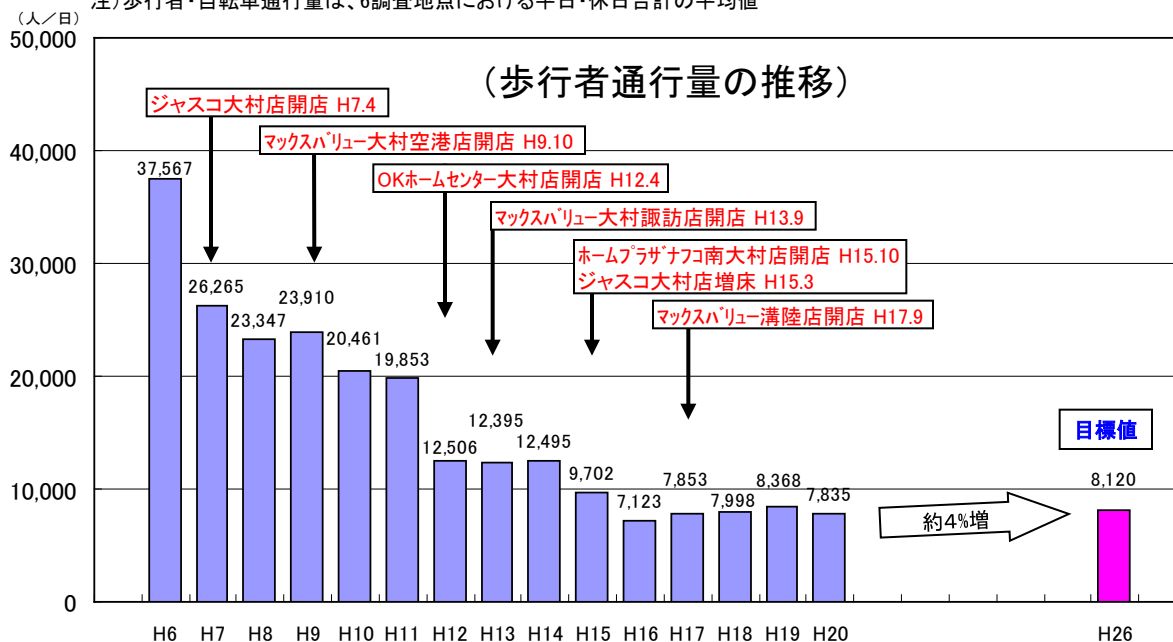
○ 年間小売販売額

H6 : 2,147百万円

→ H16 : 990百万円 (▲ 53.9%)

| 目 標 | 指 標 | 現況値 (H20) | 目標値 (H26) |
|---------|------------|-----------|-----------|
| 交流人口の拡大 | 歩行者・自転車通行量 | 7,835人/日 | 8,120人/日 |
| 居住人口の拡大 | 居住人口 | 2,788人 | 2,910人 |

注) 歩行者・自転車通行量は、6調査地点における平日・休日合計の平均値



■ 多様なイベント機能を併せ持つ商業核や回遊環境の整備等により、誰もが集い・楽しめる街を目指す。

⇒ 主要事業: ①市街地再開発(商業部分)、②市民交流プラザ建設、③ポケットパーク整備事業など

■ 市民の文化・芸術活動をサポートする施設の設置等により、子育て世代から高齢者までが生き生きと暮らせる街を目指す。

⇒ 主要事業: ⑤市街地再開発(マンション部分)、②⑥市営住宅建替、⑦街なか住み替え促進、など

大村市中心市街地活性化基本計画の事業概要

交流人口の拡大

中心市街地区域：78.3ha

○市街地再開発事業(商業部分) (①)

老朽化した商業・住宅施設を再開発し、**核となる商業施設**を導入するとともに、フリーマーケットやミニコンサートなど**多彩なイベント**が開催可能な**広場**を整備。



○本町アパート市民交流プラザ建設 (②)

銀行跡地を活用し、**市営住宅及び子育て支援拠点**として**室内大型遊具**を備えた施設や**キッチンスタジオ**、**小ホール**を設置し、**多世代の市民交流**を創出する。



○ポケットパーク整備事業 (③)

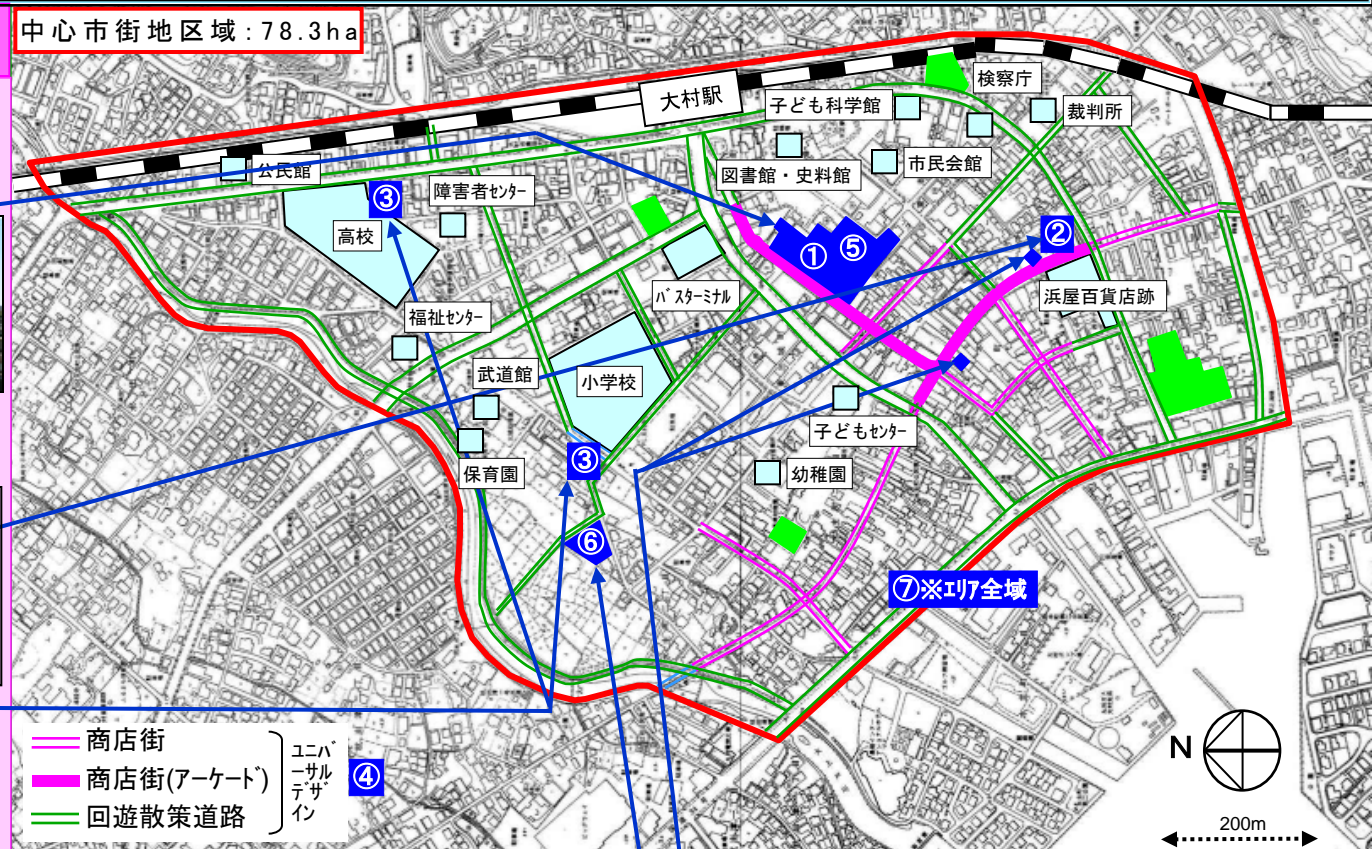
商店街の休憩スペース等として、**バンコ**(長尺)や**情報案内板**を備える**公園**(150m²程度)を整備。

○回遊散策路等ユニバーサルデザイン化事業 (④)

中心市街地内の回遊性の向上を図るため**道路等公共施設**の**ユニバーサルデザイン化**を実施。

○交流イベント事業

大村駅前通りで行う「大村夏越まつり」、アーケード街で行う「長崎街道大村宿ひなまつり」、地元特産品の即売等を行う「長崎街道大村落宿場まつり」等**特色ある交流イベント**を継続実施。



居住人口の拡大

○市街地再開発事業(マンション部分) (⑤)

商業施設等と一体となった**利便性豊かな居住空間**(分譲・賃貸：150戸)を整備。

○市営住宅建替事業 (②、⑥)

老朽化し**景観性**にも劣る**市営住宅**の**建替・増戸**を行い、**子育て世代**を対象とした**居住環境**を充実。



○街なか住み替え促進事業 (⑦)

高齢者向け優良賃貸住宅の**建設**及び**居住者への家賃**に対する**支援**を実施。

○まちかど市民ギャラリー等設置事業

市民の文化・芸術活動を支援する**ギャラリー**や**交流**をサポートする**サロン**など**空き店舗**を活用した**取組**を継続実施。

